



WebFOCUS リリースノート（アシスト追補版）

Version 9.2.1

本リリースノート（アシスト追補版）では、『WebFOCUS リリースノート Version9.2.1』を補完する情報と注意点を記載しています。WebFOCUS Version 9.2.1 をインストールの前に必ずご一読ください。

トピック

- WebFOCUS リリースノートについて
- メンテナンスリリース 9.2.1 で修正された問題
- メンテナンスリリース 9.2.1 で新規に発生する問題
- App Studio でレポート/HTML 実行時、エラーが発生する場合の対応方法について（WFTEST-5738）
- Tomcat AJP コネクタ使用時の追加設定について（WFTEST-5728）

WebFOCUS リリースノートについて

『WebFOCUS リリースノート Version9.2.1』には、利用される環境によって必要な設定および注意点が記載されています。WebFOCUS をご利用の前に必ずご一読ください。

リリースノートは、WebFOCUS Knowledge base サイトからダウンロードしていただくことができます。WebFOCUS Knowledge base へのアカウント登録が必要です。アカウントをお持ちでない場合は、下記 URL 上に表示される「WebFOCUS Knowledge base とは？」のリンクからアカウントの申し込みを行ってください。

<https://wfp.ashisuto.co.jp/service/>

WebFOCUS Version 9.2.1 で修正された問題

WebFOCUS Version 9.2.1 では、新たに以下の問題が修正されました。

管理番号	コンポーネント	内容
WFTEST-5670	Designer	Designer で、フィルターツールバーに日付項目を指定して保存すると、「項目の上位フォルダが存在しません」等のエラーが発生し、保存できません
WFTEST-5644	Reporting Server	変数を含むプロシジャを実行し、Excel・PDF 出力する際に日本語で指定したファイル名ではなくプロシジャ名で出力されます。
WFTEST-5620	Designer	シノニム内 JOIN で3つ以上のキー項目を指定すると Designer で「FOC1400」、「FOC1500」エラーが発生します。
WFTEST-5616	その他	ディファードチケットクリーンアップユーティリティ(mrdtcleanup.bat)を実行すると Java のエラーとなり、正常に処理を実行することができません。
WFTEST-5606	App Studio	App Studio より、アプリケーションフォルダ内にあるシノニムファイルより、[レポートを作成][InfoAssist グラフの作成]を選択すると、「(FOC295)置換変数の値がありません。」とエラーが表示されます。
WFTEST-5605	Designer	DESIGNER（ビジュアライゼーション）起動時に日本語名のシノニムを選択するとエラーになります。
WFTEST-5581	インストール	Tomcat AJP コネクタを使用し、Web サーバー（IIS もしくは Apache HTTP サーバー）と連携して構成する場合、WebFOCUS にログインできません
WFTEST-5571	Reporting Server	DST.と COMPUTE を併用したリクエストを実行すると、エージェントクラッシュが発生します。

WFTEST-5546	InfoAssist	InfoAssist で、同じ項目の動的フィルタを複数設定すると「ファイル書き込みエラー」が発生し、プロシジャが保存できません。
WFTEST-5528	Designer	Designer のデータタブで複数キーを JOIN した場合、ビジュアライゼーションタブに戻り、再度編集すると JOIN キーの設定が1つになっています。
WFTEST-5516	App Studio	デフォルトオートプロンプトテンプレートが「デザイナー」の場合、App Studio からパラメータ付きのプロシジャを実行できません。
WFTEST-5511	Designer	パラメータのプロンプトの設定で、デフォルトオートプロンプトテンプレートが[デザイナー]で、且つセルフサービスが[デフォルト値で実行]の場合、Designer でオートドリルダウンレポートプレビュー実行時に「WFDescribe 処理でエラーが発生しました」エラーが発生します。
WFTEST-5505	InfoAssist	InfoAssist で新規式フィルタ「READLIMIT」または「RECORDLIMIT」を設定後に、DEFINE 項目作成すると「(FOC258)演算式のフィールド名に誤りがあります」エラーが発生します。
WFTEST-5498	Designer	ビジュアライゼーションで、キャンバス上の Y 軸のタイトルが非表示になりません
WFTEST-5497	Designer	ビジュアライゼーション作成時、[データソースを選択]ダイアログで日本語のアプリケーションフォルダが表示されない場合があります
WFTEST-5479	Designer	Designer の[データソースの選択] ダイアログボックスで、検索テキストボックスから名前で検索できません。
WFTEST-5478	Reporting Server	SJIS 環境で、オートプロンプトテンプレートがデザイナーの場合、ディファード実行時に変数値に日本語の文字を入力して実行すると、入力した日本語文字が文字化けします。
WFTEST-5477	Designer	UTF8 環境で Vertica を参照している場合に、Designer の[データ]タブから IF THEN ELSE 文で DEFINE を作成した際に文字切れで表示される
WFTEST-5476	Reporting Server	SJIS 環境で、オートプロンプトテンプレートがデザイナーの場合、変数名に日本語を使用していると、WebFOCUS Hub からレポートをディファード実行する際にオートプロンプト画面が2重に表示され、

		2 回目のプロンプト画面に値を入力して実行してもエラーになります
WFTEST-5456	InfoAssist	集合横棒のタイトルを変更できません。
WFTEST-5453	InfoAssist	集合横棒の横軸のタイトルを非表示にできません。
WFTEST-5421	Reporting Server	エージェントを手動で停止させると稀にクラッシュが発生します。
WFTEST-5396	Designer	Designer でページにドリルダウンする際に、日本語のパラメータ値が渡せません。
WFTEST-5277	InfoAssist	8.1.05 の InfoAssist において、特定のファイルを使用し、複数の JOIN、WHERE 条件を含むプロシジャを 8.2.06 にインポート後、InfoAssist で開こうとすると「修復できないエラー」が発生する場合があります
WFTEST-5119	InfoAssist	マップグラフ（Leaflet）で追加した地域が反映されません
WFTEST-4938	App Studio	9.0.0 の App Studio のオンラインヘルプがデフォルトでは 8207 のコンテンツのままになっています。
WFTEST-4602	In-Document Analytics	AHTML 出力（ARVERSION=1）にて、行固定（HFREEZE）を設定している状態で リストツールで列の並び替えをすると、ヘッダー（タイトル部分）のみ移動 され、データ部分が並び替えされません。
WFTEST-1573	InfoAssist	InfoAssist+のフィルタの作成画面で、比較値に「パラメータ」を選ぶと演算子を「文字列を含む」や「マスク文字」に変更できません。

メンテナンスリリース 9.2.1 で新規に発生する問題

メンテナンスリリース 9.2.1 では、以下の問題が新規に発生することが報告されています。

キー	コンポーネント	要約
WFTEST-5745	ホームページ	WebFOCUSClient のオンラインヘルプの設定を行うと、Tomcat のメモリサイズが少ない場合、「java.lang.OutOfMemoryError: GC overhead limit exceeded」エラーが発生し、Tomcat が起動できなくなります。
WFTEST-5739	Web コンソール	Web コンソールよりシノニムエディタで条件式を指定した後、「終了してフルコンソールに戻る」ボタ

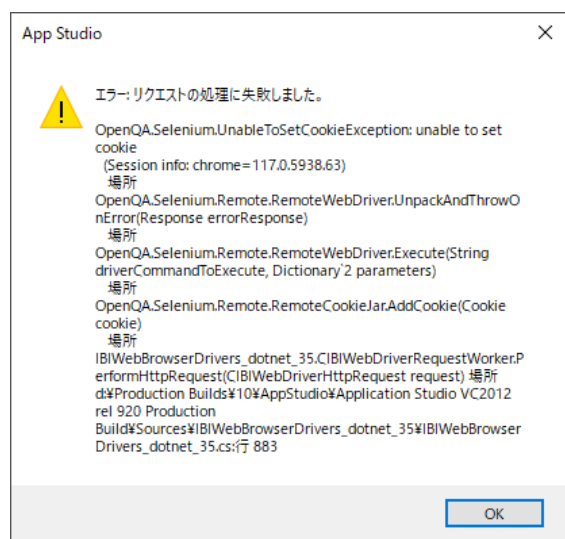
		ンをクリックし「破棄」を選択すると指定した条件式が破棄されず保存されてしまいます。
WFTTEST-5738	App Studio	AppStudio V9.2.1 でレポート、HTML 実行時、Selenium モジュールを適用しても、OpenQA.Selenium.UnableToSetCookieException エラーが発生します。（Chrome、Edge でのみ発生）

WebFOCUS をご使用にあたっての非互換、不具合の詳細な情報は、AWSC-2（Ashisuto Web Support Center-2※）の WebFOCUS 不具合・非互換一覧 バージョン 9（FAQ 番号：60195）をご確認ください。
<https://ashisuto.my.site.com/awsc2>

※AWSC-2 のログインにはサポート ID が必要となります。

App Studio でレポート/HTML 実行時、エラーが発生する場合の対応方法について（WFTTEST-5738）

App Studio V9.2.1 で出力ブラウザに Chrome または Edge を使用している場合、レポート HTML の実行時に Selenium エラー（OpenQA.Selenium.UnableToSetCookieException）が発生します。



本事象につきましては、現在メーカーに対応依頼中です。この問題を回避するために、以下のいずれかの方法で対応いただきますようお願いいたします。

- 出力ブラウザが Firefox の場合は問題ありません。
- AppStudio でレポート/HTML を作成、保存後、WebFOCUS Client（WebFOCUS Hub）で実施する場合は問題ありません。

Tomcat AJP コネクタ使用時の追加設定について（WFTEST-5728）

WebFOCUS Version 9.2.1 をインストール時、アプリケーションサーバーとしてインストールモジュールにバンドルされた Tomcat（V9.0.76）を Web サーバー（IIS もしくは Apache HTTP サーバー）と連携（AJP コネクタ経由）して構成する場合、Catalina ログに Java エラー（java.lang. IllegalArgumentException）が発生します。

（WFTEST-5728）これは Tomcat V9.0.76 を含む特定のバージョンでのみ発生する問題であり、この問題に対応するためには、Tomcat を問題の発生しないバージョンに入れ替える必要があります。

以下は Windows 版、Linux 版のそれぞれの環境で WebFOCUS の新規インストールで自動構成される Tomcat V9.0.76 を同 V9.0.70 に入れ替える手順です。WebFOCUS の構成内容に応じて、以下を参考に必要な対応を行ってください。

Windows 版対応方法

1 Tomcat V9.0.70 モジュールのダウンロード

Apache Tomcat サイト（<https://tomcat.apache.org>）の以下のアーカイブサイトで Tomcat V9.0.70 のインストールモジュール（apache-tomcat-9.0.70.exe）をあらかじめダウンロードします。

<https://archive.apache.org/dist/tomcat/tomcat-9/v9.0.70/bin/>

2 WebFOCUS V9.2.1 の新規インストール

インストールガイドまたはインストール手順書にしたがって、WebFOCUS V9.2.1 を新規インストールします。

3 Tomcat V9.0.76 のバックアップ

WebFOCUS Client V9.2.1 の新規インストールで自動構成される Tomcat V9.0.76 のバックアップを取得します。

3.1 Tomcat V9.0.76 のサービス（Apache Tomcat 9.0.76 for WebFOCUS）を停止します。

3.2 [Tomcat 構成ユーティリティ]（Windows スタートメニューから[ibi]-[Tomcat]）を起動し、[Java]タブのすべての設定をテキストエディタなどにコピーし、保管します。 ※後続の手順で設定を変更しますので、必ずすべての内容を保管してください。

3.3 <drive>:\ibi\tomcat フォルダをコピーし、バックアップを取得します。

4 Tomcat V9.0.76 のアンインストール

Windows スタートメニューから[ibi]-[Tomcat]-[Tomcat のアンインストール]を実行し、Tomcat V9.0.75 をアンインストールします。

5 Tomcat V9.0.70 のインストール

先にダウンロードした Tomcat V9.0.70 インストールモジュール（apache-tomcat-9.0.70.exe）をインストールします。インストーラの指示により、以下を指定してください。

- Java Virtual Machine : <drive>:\%ibi%\WebFOCUS91\jdk
- Choose Install Location : <drive>:\%ibi%\tomcat

インストール完了後、Tomcat サービス（Apache Tomcat 9.0 Tomcat9）を起動し、以下の URL にアクセスできれば、Tomcat V9.0.70 のインストールは完了です。

http://サーバ名:8080

6 Tomcat V9.0.70 インストール後の構成

6.1 Tomcat V9.0.70 のサービス（Apache Tomcat 9.0 Tomcat9）を停止します。

6.2 3.3 で取得した Tomcat V9.0.76 のバックアップから以下のフォルダ配下のファイルを Tomcat V9.0.70 の同じパス上にコピーします。

<tomcat V9.0.76 のバックアップフォルダ>\%conf%\Catalina\localhost

6.3 3.3 で取得した Tomcat V9.0.76 のバックアップから以下のファイルをテキストエディタで開き、AJP Connection ポート（8009）の指定をコピーします。

<tomcat V9.0.76 のバックアップフォルダ>\%conf%\server.xml

6.4 AJP Connection ポート（8009）の指定を 6.3 でコピーした内容で置き換え、コメントアウト指定を削除し、有効化します。

<drive>:\%ibi%\tomcat\%conf%\server.xml をテキストエディタで編集します。

<Connector protocol="AJP/1.3" />の前後の <!-- と --> がコメントアウトの指定です。

指定例：

```
<Connector protocol="AJP/1.3"
    address="localhost"
    port="8009"
    redirectPort="8443"
    secretRequired="false"
    allowedRequestAttributesPattern=".*"
    maxPostSize="-1" />
```

6.5 Windows スタートメニューから[Apache Tomcat 9.0 Tomcat9]-[Configure Tomcat]を実行し、以下の設定を行います。

- [Log On]タブで、[Local System account]を選択します。
- [Java]タブで、[Java Virtual Machine]、[Java Classpath]、[Java Options]、[Initial memory pool]、[Maximum memory pool]の設定をあらかじめ保管してある V9.0.76 と同じ値に設定します。

6.6 Tomcat サービス（Apache Tomcat 9.0 Tomcat9）を起動します。また、WebFOCUS Client リポジトリ DB と WebFOCUS Reporting Server のサービスを再起動します。

7 WebFOCUS Hub にログインし、[管理コンソール]-[機能診断]-[WebFOCUS について] より、Application Server のバージョンが [Apache Tomcat/9.0.70]となっていることを確認します。

Linux 版対応方法

1 Tomcat V9.0.70 モジュールのダウンロード

Apache Tomcat サイト (<https://tomcat.apache.org>) の以下のアーカイブサイトで Tomcat V9.0.70 のモジュール (apache-tomcat-9.0.70.tar.gz) をあらかじめダウンロードします。

<https://archive.apache.org/dist/tomcat/tomcat-9/v9.0.70/bin/>

2 WebFOCUS V9.2.1 の新規インストール

インストールガイドまたはインストール手順書にしたがって、WebFOCUS V9.2.1 を新規インストールします。

3 Tomcat V9.0.76 のバックアップ

WebFOCUS Client V9.2.1 の新規インストールで自動構成される Tomcat V9.0.76 のバックアップを取得します。

3.1 Tomcat V9.0.76 のサーバプロセス (Application Server) を停止します。

3.2 <directory>/ibi/tomcat のバックアップを取得します

4 Tomcat V9.0.76 のアンインストール

<directory>/ibi/tomcat 配下のディレクトリ、ファイルを削除します。

5 Tomcat V9.0.70 の配置

先にダウンロードした Tomcat V9.0.70 モジュール (apache-tomcat-9.0.70.tar.gz) を <directory>/ibi/tomcat 配下に配置します。

6 3.2 で取得した Tomcat V9.0.76 のバックアップから以下のフォルダ配下のファイルを Tomcat V9.0.70 の同じパス上にコピーします。

<tomcat V9.0.76 のバックアップディレクトリ>/conf/

- Catalina

7 3.2 で取得した Tomcat V9.0.76 のバックアップから以下のファイルをテキストエディタで開き AJP Connection ポート (8009) の指定をコピーします。

<tomcat V9.0.76 のバックアップディレクトリ>/conf/server.xml

8 AJP Connection ポート (8009) の指定を 7 でコピーした内容で置き換え、コメントアウト指定を削除し、有効化します。

<directory>/ibi/tomcat/conf/server.xml をテキストエディタで編集します。

<Connector protocol="AJP/1.3" />の前後の <!-- と --> がコメントアウトの指定です。

指定例：

```
<Connector protocol="AJP/1.3"
    address="localhost"
    port="8009"
    redirectPort="8443"
    secretRequired="false"
    allowedRequestAttributesPattern=".*"
    maxPostSize="-1" />
```

- 9 3.2 で取得した Tomcat V9.0.76 のバックアップから以下のフォルダ配下のファイルを Tomcat V9.0.70 の同じパス上に上書きコピーします。

<tomcat V9.0.76 のバックアップディレクトリ>/bin/

- shutdown.sh
- startup.sh
- catalina.sh

- 10 3.2 で取得した Tomcat V9.0.76 のバックアップから以下のフォルダ配下のファイルを Tomcat V9.0.70 の同じパス上に上書きコピーします。

<tomcat V9.0.76 のバックアップディレクトリ>/webapps/

- lbi_html

- 11 <directory>/lbi/tomcat/webapps フォルダ配下の以下フォルダを削除します。

- docs
- examples
- host-manager
- manager

- 12 Tomcat V9.0.70 のサーバープロセス（Application Server）を起動します。

- 13 WebFOCUS Hub にログインし、[管理コンソール]-[機能診断]-[WebFOCUS について] より、Application Server のバージョンが [Apache Tomcat/9.0.70]となっていることを確認します。

以上